

第6回

旧本郷第一小学校跡地利活用検討会

日時 令和元年5月11(土) 午後1時30分～

場所 会津美里町役場 本郷庁舎

ふれあいセンター ふれあいホール(2階)

次 第

1. 委員長挨拶

2. 議事

- 1) 第5回検討会開催内容
- 2) 利活用方針の最終とりまとめについて
- 3) その他

3. 閉会

旧本郷第一小学校跡地利活用検討委員会委員名簿

職名	氏名	所属・役職	
委員長	松村 茂	学識経験者	東北芸術工科大学デザイン工学部 企画構想学科教授
副委員長	弓田 修司	産業関係団体	会津本郷焼事業協同組合代表理事
副委員長	齋藤 勝美	一般公募	
委員	梅宮 孝裕	教育関係団体	本郷小学校PTA会長
委員	川田 とも子	教育関係団体	本郷中学校PTA会長
委員	柏村 翔	教育関係団体	本郷幼稚園保育所保護者会会長
委員	渡部 一也	産業関係団体	栗城林業株式会社
委員	齋藤 良七	自治会	本郷地域区長会会長
委員	佐藤 信寛	一般公募	
委員	西田 健	一般公募	
委員	石橋 史敏	一般公募	
委員	竹内 樹美	一般公募	
委員	水谷 加奈	一般公募	
委員	油谷 文恵	一般公募	

※ 順 不 同

◇事務局

総務課長	原 克彦
総務課長補佐	平山 正孝
管財契約係長	榎森 正典
主任主査	大竹 祐介
主事	五十嵐 涼

1) 第5回検討会開催内容

2つのグループに分かれ、ワークショップ形式によりキャッチフレーズを検討。

それぞれのグループで提案された意見

◇第1グループ

- ・キャッチフレーズは「おしゃべり子育て広場」。子供や子育て世代を中心として、幅広い世代の人たちが集うことのできるコミュニティの場。
- ・人口減少の抑制、地域の賑わい創出のためには、人が集まる場があるということが大切。
- ・人を集めるためには、集まるきっかけや仕掛けが必要になる。
- ・例として、子供が安心して思い切り遊べる場所や、年代を越えて使えるイベント広場。
- ・今の時代、地域に求められているのは人と人がつながり、そこにコミュニティを生み出すということ。
- ・コミュニティの場とするのであれば、一日を通して使えること、年間を通して使えること、それから、老若男女誰でも使えることが必要ではないか。
- ・自然に触れ、四季の移ろいを感じることができるよう、池や木々を整備していきたい。
- ・子供たちを中心とした賑わいを創っていくという一つの大まかな流れはできたと思う。

◇第2グループ

- ・キャッチフレーズは「衣・食・住+遊+学=賑わい」
- ・第1グループとの大きな違いとして、住宅や店舗のスペースがある。
- ・この施設としてのスペースは、住宅や店舗としての空間プラスαの意味合いを持っている。
- ・施設を造り、防災施設や避難所としての役割を担わせることはできないか。
- ・基本的な店舗の活用法としては、お年寄りや子供が集まることのできるコミュニティ施設。
- ・芝生の公園広場としてのスペースもマルシェを開いたりして、楽しく交流を図ることができる場として検討してみた。
- ・池も陽の当たる南側に移設して、ビオトープとして活用してみてもどうか。

- ・ もう一つ第 1 グループとの大きな違いである、東西へ走る道路については、店舗を開くのであれば、車で乗り入れるための道路はどうしても必要である。
- ・ しかし、子供を自由に思い切り遊ばせるためには、安全性についても検討しなくてはならないため、スピードを抑えて運転してもらえそうな道路を整備する必要がある。
- ・ 我々の理念としては「防災」と「賑わい」。
- ・ 人々が集える場所。そういった場所を増やすことによって賑わいが生み出される。この部分については第 1 グループとも共通する認識。
- ・ では、その管理や運営は誰が担うのか。その問題を解決するために店舗や住宅を整備して、入居してもらった人たちに任せてみてはどうか。
- ・ 地域の賑わいを興す、ということは今後何をするにしても大事な部分になってくると思う。
- ・ 衣食住という生活するうえで必要な部分については、跡地以外の本郷の中で考えてもらうとして、それ以外の遊びと学びの部分をプラスしていくことによって、この土地から賑わいを創出していくというのが我々の基本的な理念・コンセプトである。
- ・ また、この計画がもし失敗してしまったとしても、有事の際に人、生活、命を守っていくための施設が必要ではないか。
- ・ 基本的な考えは、人が集まりお年寄りも元気になって、子供たちも地元に残ってくれるような魅力あるまちづくりを進めていくとなったときに、軸になるのは賑わいの創出なのではないか。

◇グループワーク共通認識していたこと

- ・ 本郷地区に賑わいを創出するための場所にしたいということ
- ・ コミュニティを形成することができる場所にしたいということ
- ・ 子供が自由に遊べる空間があること

※この 3 つの理念を検討会の跡地利活用方針として位置づけていく。

2) 利活用方針の最終とりまとめについて

会津美里町長 渡部 英敏 様

旧本郷第一小学校跡地利活用方針（案）

旧本郷第一小学校跡地については、

- 本郷地区に賑わいを創出するための場所
- コミュニティを形成することができる場所
- 子どもが自由に遊べる場所

この3つの理念を、旧本郷第一小学校跡地利活用検討委員会の跡地利活用方針として位置づけ、本郷での暮らしを充実させ、その魅力を発信し、地域活性化の拠点となる場所としていく。

以上、旧本郷第一小学校跡地利活用方針（案）として提出いたします。

令和元年 月 日

旧本郷第一小学校跡地利活用検討委員会

委員長 松村 茂

【参考資料】

◇旧本郷第一小学校樹木診断結果について

- ・実施日：平成31年3月13日（水）
- ・実施樹木：メタセコイヤ[ヒノキ科]（2本）、ソメイヨシノ[バラ科]（2本）
- ・実施項目：以下のとおり

①メタセコイヤ（東側）

- （1）地上部の衰退度判定・・・「やや不良」
- （2）腐朽部の腐朽度・・・「疑わしい」※盛土付近の幹に深い溝有り
- （3）倒木の可能性・・・「疑わしい 有り」
- （4）備考・・・根が傷んでいる可能性がある、排水不良になっている。

②メタセコイヤ（西側）

- （1）地上部の衰退度判定・・・「やや不良」
- （2）腐朽部の腐朽度・・・「疑わしい」※盛土付近の幹に深い溝有り
- （3）倒木の可能性・・・「疑わしい 有り」
- （4）備考・・・根が傷んでいる可能性がある、排水不良になっている。

③ソメイヨシノ（南側）

- （1）地上部の衰退度判定・・・「著しく不良」
- （2）打診音の異常・・・「疑わしい」
- （3）腐朽部の腐朽度・・・「疑わしい」
- （4）揺らぎの異常・・・「無し」
- （5）倒木の可能性・・・「有り」
- （6）備考・・・てんぐ巣病の枝がある、根が傷んでいる可能性がある。

④ソメイヨシノ（北側）

- （1）地上部の衰退度判定・・・「不良」
- （2）打診音の異常・・・「疑わしい」
- （3）腐朽部の腐朽度・・・「有り」
- （4）揺らぎの異常・・・「疑わしい」
- （5）倒木の可能性・・・「有り」
- （6）備考・・・根が傷んでいる可能性がある。サクラこぶ病もしくはサクラガンシュ病の枝がある。

※③・④のソメイヨシノ診断の（2）、（4）については①・③のメタセコイヤ診断では行っておりません。